

市内中小企業の新たな発展モデルの構築を目指す交流会

# 付加価値の高い物流拠点の整備

---

令和元年7月30日（火）  
川口総合文化センターリリア 1階 催し広場

# 本日の議論を進めるにあたって

- ✓ 引き続き「川口市の産業が将来も発展し続けるために、物流業としてどういった貢献が出来るのか」といった考えに基づき、製造業者、不動産業者等から意見を聞いていきたい。
- ✓ 実現性をもった計画とするために、物流センターを整備するのに必要な土地が川口市内に確保できるのか検討していきたい。  
(面積・価格・立地・制限等の条件)

# 本日の論点

## 1 どのような条件であれば市内へ生産拠点が誘致できるか。

市外に生産拠点が移転してしまう理由等を踏まえて、市内へ生産拠点を誘致するために必要な条件や、物流拠点に必要な機能・設備など。

(例) 製造や研究に要する設備と物流・倉庫機能が整備された施設があれば魅力的なのか。

## 2 川口市に条件に見合う「土地」はあるのか。

○ 取得の条件やハードル、価格など。(不動産業)

## 3 物流事業者として、生産環境を向上させる方策はあるか。

○ 新物流拠点に望む設備・機能・サービスについて

# (参考) 3月交流会ディスカッション結果

## 1 大企業に無い付加価値の高い物流拠点の機能と土地、周辺環境の要件について

### (1) 機能

- ・ 製造業と連携
- ・ 雇用の創出に繋がるもの
- ・ 土地の利活用ができるもの

### (2) 要件

- ・ 高速道路の近くで、交通の便の良い場所
- ・ 広さ：1,000坪～2,000坪
- ・ 道路、ライフラインの整備状況

## 2 今後の展開について

- 候補地を決定するまでのスケジュールを作成
- 製造業連携方法について検討する
- 用途地域の変更や地権者（農家）との交渉方法等も検討する

# (参考) 5月交流会ディスカッション結果

## 1 市外に生産拠点が移転する理由について

- 製造業は顧客目線に合わせて製造拠点を立地する
- 業務拡大や製品が大きくなるに応じて、より広い面積の工場用地が必要になると、川口確保するのは難しい
- 川口では、求める規模の土地が見つからず（1000坪程）、見つかったても、倉庫業しか出来ないなど制限がある

## 2 市内への誘致は価格・物流網等のハードルが高いのか

- (弱点) 価格=高い、まとまった面積の土地もない
- (強み) 物流網として高速に近い、都心に近いのは強み

## 3 物流事業者として、生産環境を向上させる方策はあるか

- 出荷作業の効率化が出来る機能
  - …製品のコンテナをサイズに合わせて上下できる機能等
- 出荷ミス防止の機能…サイズ違いや製品個数違い防止等